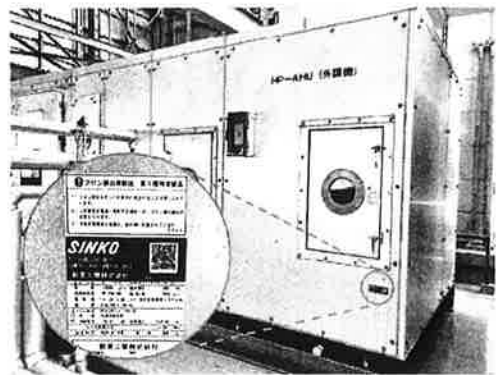


メンテナンス・部品購入・台帳管理

QRコード読み取り、簡単に利用 「SINKOかざしてメンテ」好評価

新晃工業

新晃工業（社長 末永聡氏、本社・大阪市北区南森町1-4-5）は、空調機の銘板に貼付されているQRコードをスマートフォンで読み込むこ



空調機に貼付されたQRコード

いつ・誰が行った

とで、①メンテナンス依頼②部品購入依頼③空調機器の台帳管理などのサービスを利用できる「SINKOかざしてメンテ」を展開中だ。

同サービスを利用すれば、これまで電話などで行っていたメンテナンスの依頼をネット上で、現場写真を共有しながら相談したり、部品購入の依頼を行える。また、管理が必要な空調機器を建物ごとに台帳で一括管理することもできる。

このサービスについて営業統括本部・郡裕太サプリーダーは「2023年9月出荷分からの空調機が対象で、銘板に付いているQRコードを読み込み、サイトにアクセスする仕組み。QRコードは、空調機ごとに異なる

という記録も付けておくことができる」と説明する。

現在、「製品出荷前の立ち合い検査の際に、お客様に同サービスの説明をしているが、非常に興味深い取り組みであると高評価をいただいている（郡サプリーダー）と手応えを感じ取っている様子。代表的な機能は三つだが、「近い将来のアップデートも検討中」としており、さらなる進化を遂げていきたい。サービス利用にあたって契約は不要で、会員登録（無料）だけで済む。「かざしてメンテ」の機能は、建物管理を行うエンドユーザーも簡単に使えることから、SINKO製品の全てのメンテナンスサービスを担う新晃アトモス（本社・東京都江東区）も「かざしてメンテ」のPRに乗り出しており、今後の会員登録増加につながりそうだ。

新晃アトモスでは、SINKO製品に必要なメンテナンス情報をいつでも同社ホームページ上で確認できる「電子空調機問診票」サービスを昨年5月から行っている。同サービスは「もともとホームページ活動のために開発したものが、現在は空調機についてのちょっとした質問や情報収集、不調の原因の調査など、メンテナンス検討開始の第1ステップとして役立てていただくことを想定して取り組んでいる（新晃アトモス経営企画部・中嶋仁部長代理）」とし、今後は「お客様さまのお悩み事を事前にヒアリングして、迅速にソリューション提案できる仕組みを目指す」と話す。「かざしてメンテ」、「電子空調機問診票」のいずれも顧客に寄り添った持続的な「安心」を提供するサービスとして今後の広がりが期待される。